

廃止事業について

①松江だんだん傘プロジェクトの終了

平成24年(2012年)「しまね協働実践事業」の採択を受け、みんなで使う「だんだんシェア傘」と位置付け9年間活動してきたが、傘立ての老朽化による景観的不評や傘の盗難などの問題が発生した。不要な傘の確保が困難になり維持管理も困難に至ってきた。最新のIT化された有料レンタル傘システムもあるがコスト面と自動車社会である当地区に向かない為、今期シェア傘の回収・終了の周知期間とし、だんだんシェア傘のプロジェクトを10年をもって終了させます。

上記の事業計画に記載しているが、補足をいたします。本年んで10年になるプロジェクトですが下記事由によりサービスを停止することとし、本年撤収の活動としたい。

- ①傘の確保が困難になってきた(JRさんからの忘れ物傘の贈呈申請の煩雑さ)
- ②傘補充の煩雑さ(当時の担当窓口者が不在)
- ③平成25年補助事業で作成した島根県『水と緑の森づくり税』活用事業からの県産木材を使用した傘立てが、経年劣化により美観を損ねる状態となってきた、撤去要請を受ける状況になった。
- ④傘立てへの傘補充や美観管理巡回等の作業人員が避けなくなってきた。

②大庭西地区市民農園の閉園予定

平成23年より小原氏より、松江市を介在して農地を借り、平成23年度耕作放棄地再生利用緊急対策事業「大庭西 まちネット市民農園開設(平成24年4月開園)/松江市耕作放棄地対策協議会」により市民農園として14年活動してきたが、小原氏さんへ返却する内諾を得ており、また。農園利用者は、地権者農園へ移動いただくことで調整している。

- ①農園周辺の法面除草が困難になったため。
- ②閉園後に地権者本人が市民農園として引き継ぐ可能性がある。

新規事業について

②NPO等の活動基盤強化事業

地域の課題解決や活性化に取り組むNPO等の活動基盤を強化するため、組織評価や資金調達等のコンサルティングを行うとともに、民間公益活動の促進に資する調査研究を行います。

①コンサルティング事業

組織評価、ファンドレイジング(資金調達)、IT導入などNPO等の活動基盤の強化に資するコンサルティングを行います。

②調査研究事業

行政や全国の中間支援組織と連携し、民間公益活動の促進に資する各種調査・研究を行います。

③休眠預金等活用事業

中国5県休眠預金等活用コンソーシアムと連携し、実行団体への伴走支援を行うとともに、将来的な役割を検討します。

④パートナーシップ構築支援事業

島根県内のNPO等のネットワークの構築及びSDGsや災害救援等テーマ型のネットワークの構築を目指します。各種ネットワークへの加入・連携します。

松江NPOネットワーク(年会費2千円)・環境市民会議(年会費3千円)・日本NPOセンター(年会費10千円)・日本ファンドレイジング協会(年会費36千円)・全国地域づくり団体協議会(年会費3千円)